

**No.27**  
**3/1号**



宗像清掃工場の休み  
 ■ごみの自己搬入  
 ■工場施設見学

日曜日、12月29日から1月3日  
 13時～16時30分 月曜～土曜日(祝日も可)  
 月曜～金曜日(祝日を除く)  
 9時～16時までの間受付  
 (詳しくは電話でお問い合わせください)

☎ (62)0505 ファックス (62)0594  
 URL: <http://www.genkai-kankyo.jp/>  
 eメール [ecopark@genkai-kankyo.jp](mailto:ecopark@genkai-kankyo.jp)

発行：玄界環境組合 宗像清掃工場 〒811-3401 宗像市池浦600-1

# ごみの自己搬入方法

**ごみの自己搬入について**  
 搬入できるごみは宗像市内で発生したごみ(家庭から出たごみ、事業所から出た産業廃棄物以外のごみ)で原則、排出した当事者(本人)が持ち込むごみに限ります。  
 ※搬入できるごみ・できないごみの種類についてはホームページをご覧ください。



**① 搬入口**

- 青信号を確認。入口に向かって左側の計量器(緑色の台枠内)に車両をとめて、受付へ。そのほかの入口は、不可。



**② 受付・計量**

- 計量窓口で申請書に申請者の住所、氏名、ごみの発生場所、ごみの内容などを記入。
- ごみを車両に積んだ状態で重さを計量します。受付の順番は搬入レーンに並んだ車の順番で行います。



**③ ごみを降ろす**

- 工場内は右廻り(時計廻り)の一方通行。
- 係員の指示に従って、指定の場所に自分で降ろす。



**④ 計量・精算**

- 青信号を確認。出口に向かって左側の計量器(緑色の台枠内)に車をとめて、受付カードを持って受付へ。そのほかの出口は、不可。
- ごみを降ろした後の車両の重さを計量。



**料金の計算方法**

1回目の計量    2回目の計量    =    **ごみの重さ**

料金: 10kgまでごとに **140円**

安全に自己搬入するために！

エコパーク宗像へのごみの自己搬入は、毎年増加傾向にあり土曜日、祝日に搬入が集中し混雑します。施設内での車両事故等の防止を目的に混雑状況に応じて、受け入れの車両台数を一時的に制限することもあります。

このため受付での待ち時間が長くなることもありますが、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

また、場内は安全対策のため、ごみ搬入車両の一方通行やスピードの制限などをしていきますので、かならず係員の指示や案内に従ってください。

◆エコパーク宗像では、効率的な工場運営を目指し、常に費用の削減に努めています。

こうした費用は、ごみ質や排出量に大きく影響されます。市民の皆さんには、いま一度、3R【廃棄物の発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)】への取り組みに、ご理解とご協力をお願いします。

平成28年度の環境委員会「諮問・答申」について

平成28年度の委員会で審議した平成27年9月から平成28年8月までの環境調査結果および周辺環境に係る環境監視項目について次のとおり答申を受けました。

(答申)

環境監視結果(平成27年9月、平成28年8月)について、宗像清掃工場環境委員会において審議した結果、周辺環境および施設の維持管理に関する環境監視結果ともに、施設の計画値等を満足しており、工場が周辺環境を悪化させるものではないと評価する。

また、周辺環境に係る環境監視項目は、平成29年度以降、調査地点ならびに調査時期の見直しを行うことが妥当と判断される。

詳しくは、ホームページに掲載しています。

平成29年度予算決定

(歳出予算の前年度比較)

目的別歳出項目	平成29年度当初予算額	平成28年度当初予算額	比較増減	増減率	主な増減理由
総務費	18,284万円	19,284万円	▲1,000万円	▲5.19%	電気料の減額 ▲1,336万円 水道料の増額 44万円 修繕料の増額 69万円 環境モニタリング調査委託料の増額 226万円
可燃物処理費	122,809万円	108,661万円	14,148万円	13.02%	消耗品費の増額 104万円 燃料費の減額 ▲107万円 医薬材料費の減額 ▲2,300万円 施設定期整備等委託料の増額 23,222万円 施設法定整備等委託料の減額 ▲166万円 飛灰処理委託料の減額 ▲6,616万円
不燃物処理費	12,449万円	12,295万円	154万円	1.25%	修繕料の増額 67万円 設備保守・整備等委託料の増額 100万円 不燃物および処理困難物等処理委託料の減額 ▲20万円
処分場管理費	50万円	50万円	0円	0%	
公債費	56,592万円	81,979万円	▲25,387万円	▲30.97%	公債費元金・利子の減 ▲25,387万円
合計	210,184万円	222,269万円	▲12,085万円	▲5.44%	

※万円単位で端数処理を行っています。

主な増減の要因として、じん芥処理総務費では、電気料(約1336万円の減)、可燃物処理費では、医薬材料費(約2301万円の減)、施設定期整備等委託料(約2億322万円の増)、飛灰処理委託料(約6616万円の減)、公債費では公債費元金・利子(約2億5387万円の減)などが挙げられます。その他、詳細は「歳出予算の前年度比較」を確認してください。